

ワンラムダ社

HLA Fusion 2.0 解析マニュアル

マイクロSSP 編

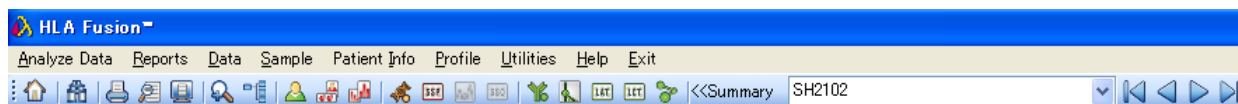
目次

目次.....	1
第 1 章 HLA Fusion 2.0 共通操作	2
1.1 HLA Fusion 2.0 の操作ボタンについて.....	2
1.2 HLA Fusion 2.0 の起動.....	3
第 2 章 マイクロSSP解析	4
2.1 Micro SSP解析画面の起動.....	4
2.2 マイクロSSP解析方法.....	4
第 3 章 カスタムレポートの作成.....	11

第 1 章 HLA Fusion 2.0 共通操作

1.1 HLA Fusion 2.0 の操作ボタンについて

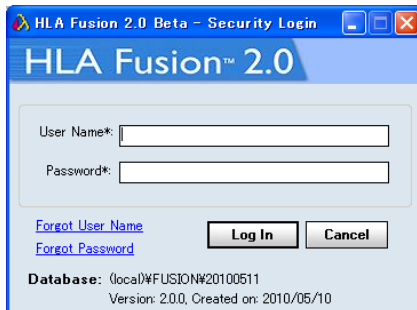
HLA Fusion 2.0 で表示される操作ボタンの意味は、以下の通りです。



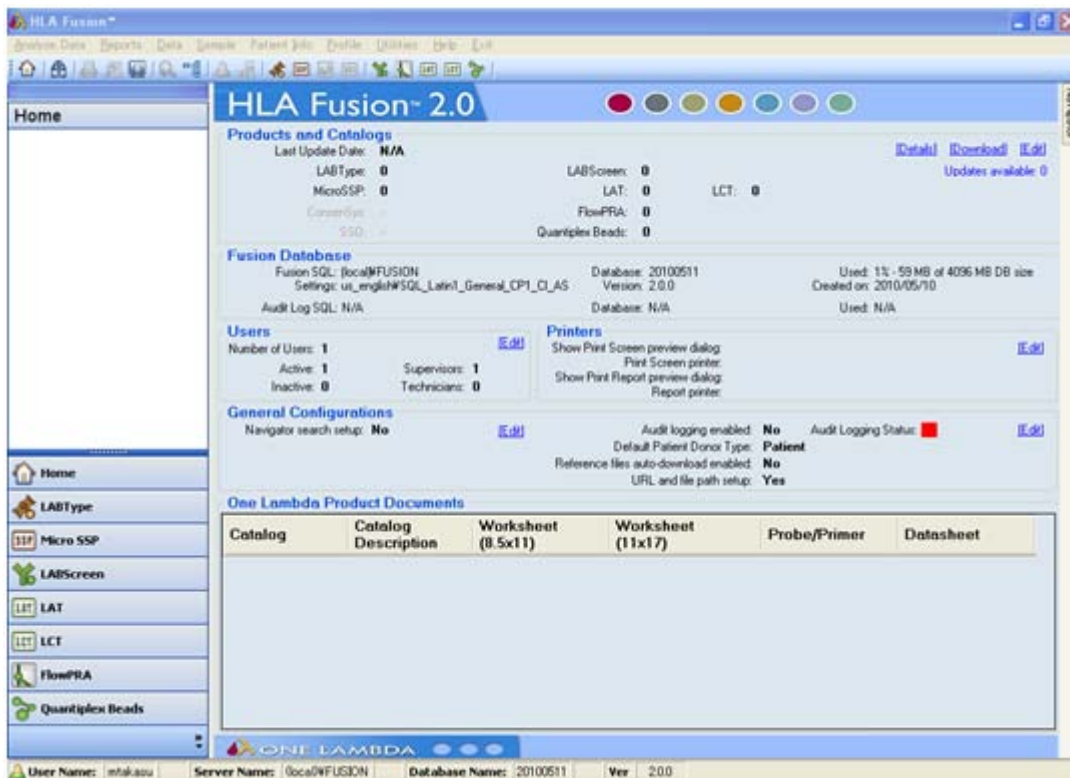
操作ボタン	操作内容
	HLAFusion2.0 解析ソフトの初期画面を表示
	過去に解析したデータを検体名・解析日・解析方法などで検索、および Navigator への表示/非表示
	レポートの印刷
	レポートの表示
	プリントスクリーン … 画面の印刷が可能
	拡大鏡 … 任意の画面の一部を拡大
	Navigator
	Patient リスト
	同一検体で 2 種類の解析データを同時に閲覧 (例・SSPJPN と AAPABDR を同時に閲覧)
	LABType の初期画面へ
	マイクロ SSP の初期画面へ
	LABScreen の初期画面へ
<<Summary	解析中の Output.csv の Summary 画面へ
SH2102	サンプル ID の表示
	最初のサンプル画面へ移動
	前のサンプルへ移動
	次のサンプルへ移動
	最後のサンプル画面へ移動

1.2 HLA Fusion 2.0 の起動

1. HLA Fusion を起動します。ご自身で設定されたユーザーネーム、パスワードを入力します。



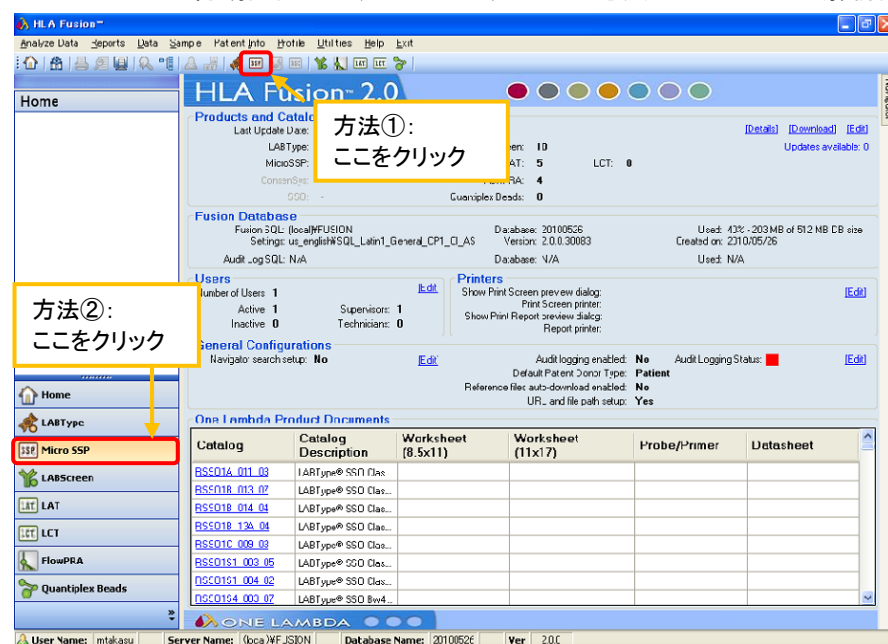
2. HLA Fusion 2.0 初期画面



第2章 マイクロ SSP 解析

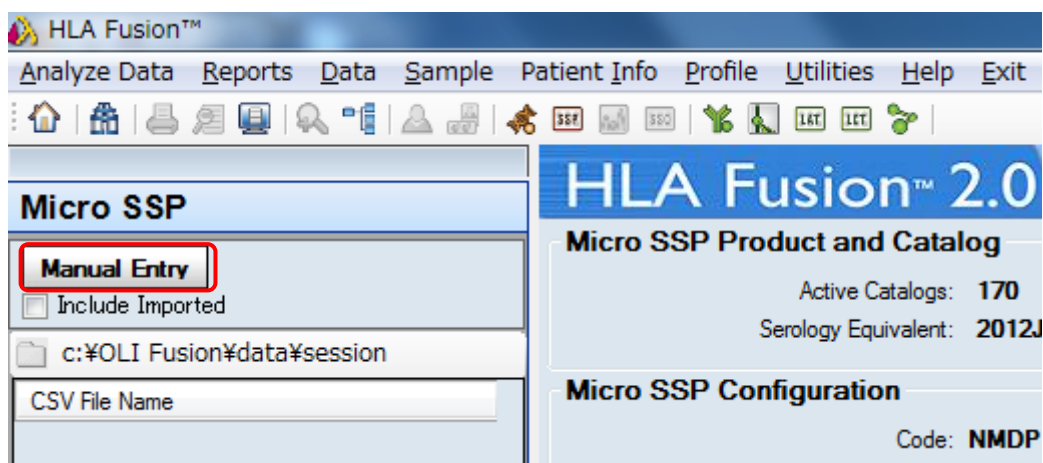
2.1 Micro SSP 解析画面の起動

HLA Fusion の初期画面から、以下のいずれかの方法で Micro SSP 解析画面を開きます。

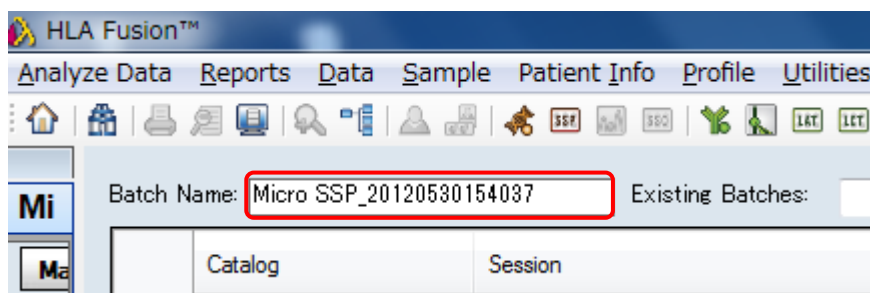


2.2 マイクロ SSP 解析方法

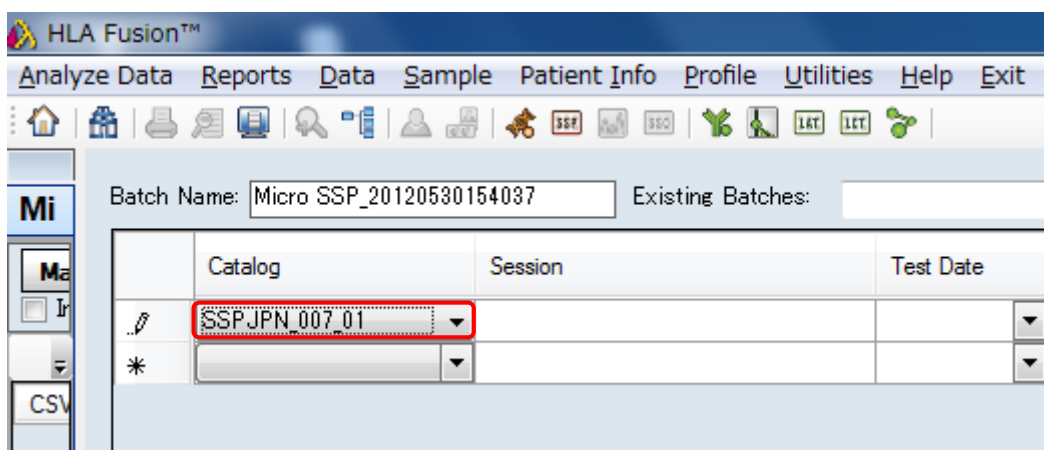
1. 画面左上の「Manual Entry」のボタンをクリックします。



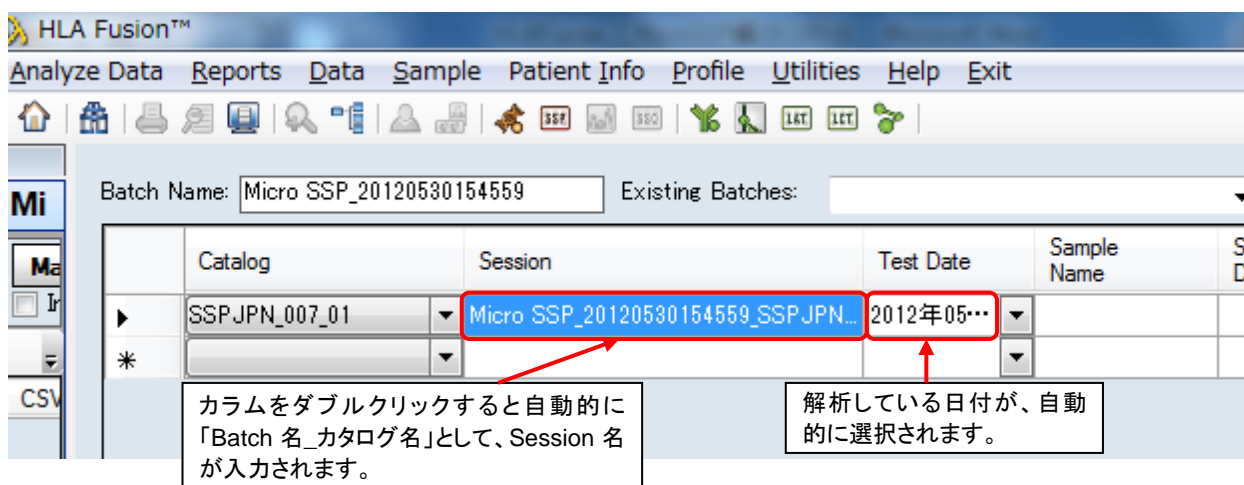
- Batch Name の欄に「Micro SSP _ 2012〇〇〇〇・・・」と、自動的に名前が入力されます。Batch 名にはその日の日時が反映されていますが、自由に変更する事も可能です。



- タイピングに使用したキット・ロット番号に該当するカタログを選択します。



- Session のカラムをダブルクリックすると、自動的に Session 名、Test Date が入力されます。



5. Sample Name を入力します。ここまで情報の入力必須です。

	Test Date	Sample Name	Sample Date	Patient ID	First Name
120530154559_SSPJPN...	2012年05...	ABC0530			

* より詳細な患者情報を追加したい場合は、サンプルの日付、Patient ID、名前、人種、ドナー / レシピエント 情報を入力することも可能です。(必須ではありません。)

これらの情報をレポートに反映させたい場合、Patient ID を入力してください。

Sample Name	Sample Date	Patient ID	First Name	Last Name	Ethnicity	Patient/Donor
ABC0530	2012年05...	ABC	TAROU	VERITA	Asian	Donor

サンプルが複数ある場合は、同様にして続けて必要情報を入力します。

HLA Fusion™

Analyze Data Reports Data Sample Patient Info Profile Utilities Help Exit

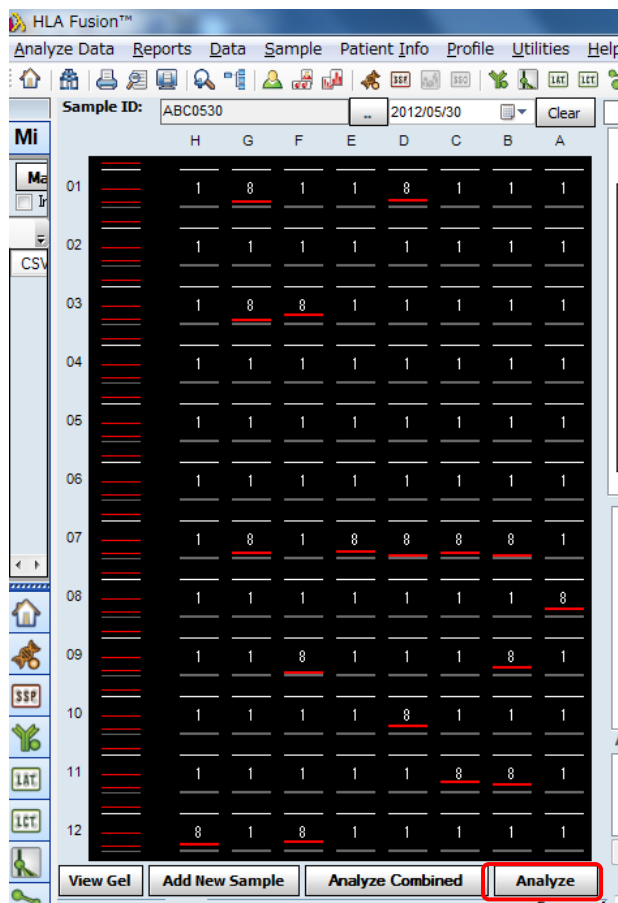
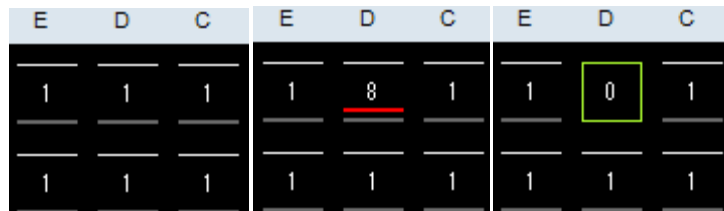
Batch Name: Micro SSP_20120530154559 Existing Batches:

	Catalog	Session	Test Date	Sample Name
	SSPJPN_007_01	Micro SSP_20120530154559_SSPJPN...	2012年05...	ABC0530
▶	SSPJPN_007_01	Micro SSP_20120530154559_SSPJPN...	2012年05...	CBA0530
*				

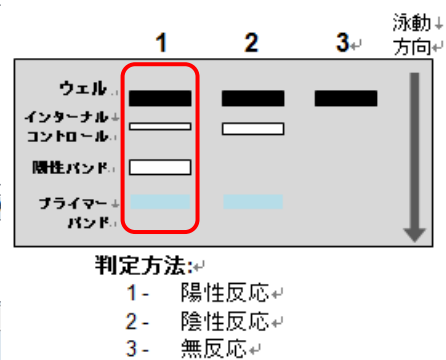
6. 続けて Micro SSP の解析を行う場合は、画面右下の「Next」をクリックします。

2.3 マイクロ SSP 解析例 (MSSP JPN lot7 を用いて日本人検体を解析)

- ゲルの泳動写真を Micro SSP のバンドパターンデータのデータを入力します。
 全てのウェルは **1 (陰性)** と表示されていますので、陽性と判定したウェルをマウスでクリックし **8 (陽性)** と入力します。判定不可のウェルの場合は、さらにクリックし **0 (判定不可)** と表示させます。



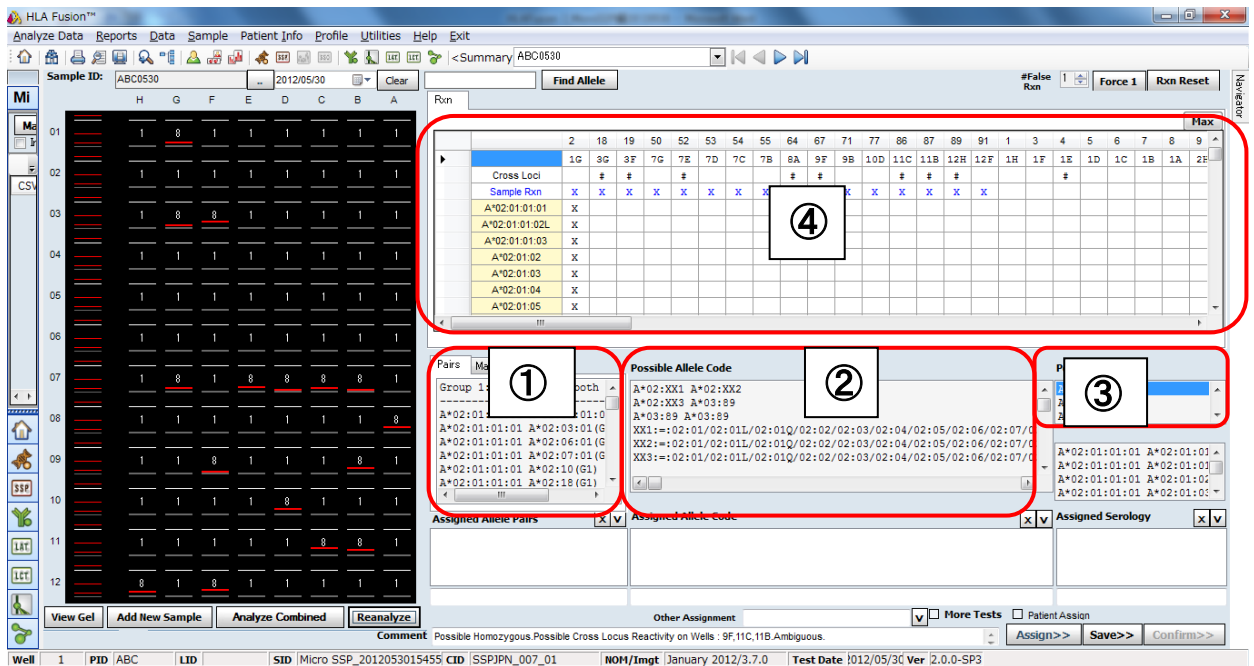
凡例:
 8: 陽性
 1: 陰性
 0: 判定不可



入力を終了したらクリック

- バンドパターンの入力が終わりましたら、Analyze ボタンをクリックします。自動判定が開始されます。(しばらく時間がかかる場合があります。)

3. 画面右側に判定結果が表示されます。



① 「Pairs」・・・可能性のあるアレルペア(4~8桁)が全て表示されています。さらにアレルフィルターが有効になっている場合は、頻度が高い順番(G1 > G2 > G3)の順にソーティングされています。

* G1: 両方のアレルが日本人頻度で 0.01%以上、G2: 片方のアレルのみ日本人頻度で 0.01%以上、G3: 両方のアレルが日本人頻度で 0.01%以下

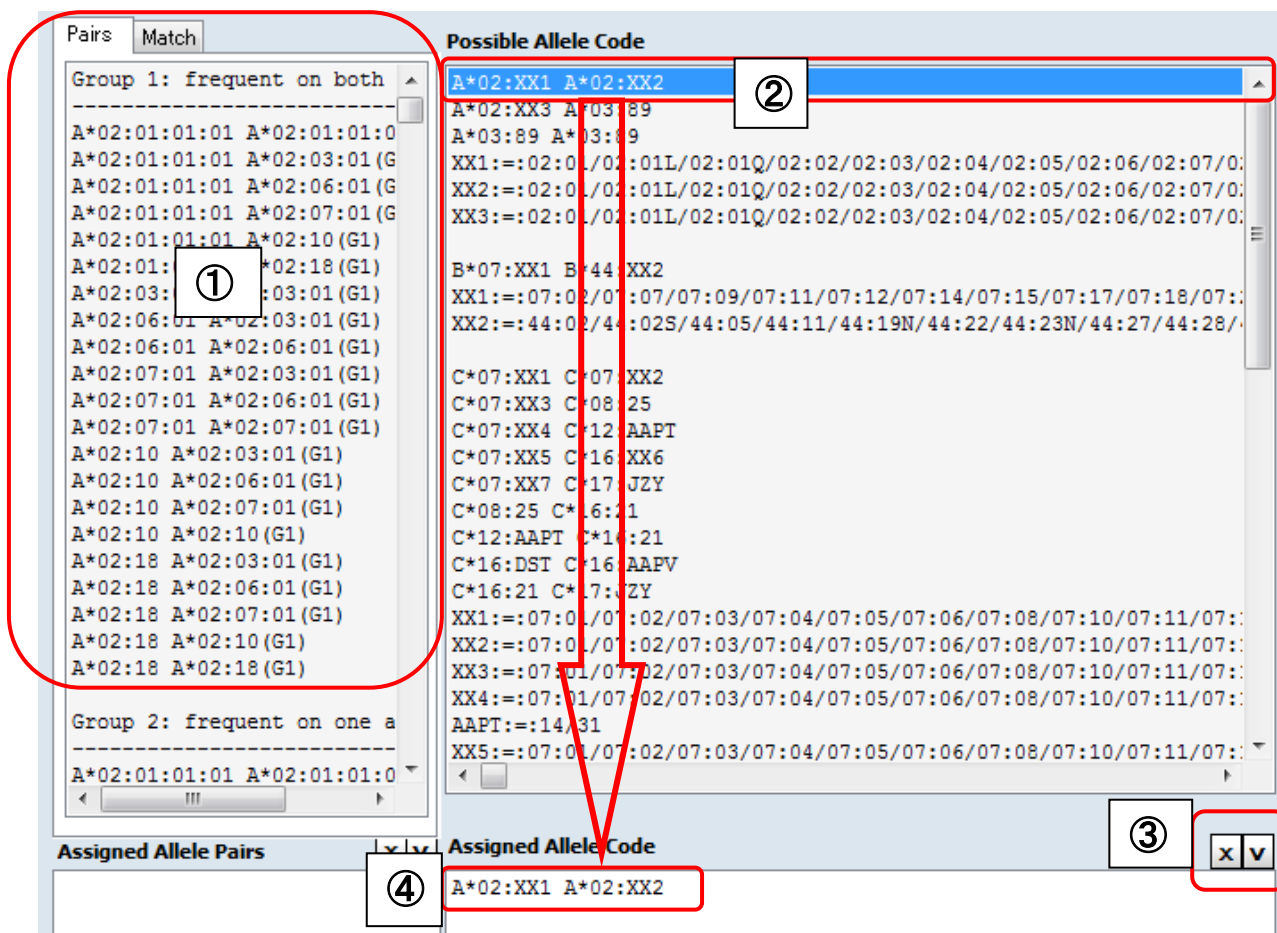
② 「Possible Allele Code」・・・可能性あるアレルが NMDP コードで全て表示されています。

* NMDP コードは、アメリカの骨髄データバンクで用いられているアレルの表記方法で、4桁レベルでのアレルをアルファベットでグループ分けしています。

③ 「Possible Serology」・・・可能性のある血清型が全て表示されています。

④ 「Rxn」・・・今回のテストの反応パターン(Sample Rxn)と該当アレルが表示されています。

4. アリルフィルターを用いて、最も可能性の高いアリルコードを決定します。



- ① 「Pairs」でG1(両方がアリルが日本人頻度 0.01%以上の組み合わせ)と表示されているアリルペアを確認します。
- ② 「Possible Allele Code」から、①の情報を元に、最も可能性の高いアリルコードを、1 ローカスあたり 1 種類決定します。
- ③ 目的のアリルコードをダブルクリックまたは、 ボタンで選択します。
- ④ 「Assigned Allele Code」の欄に、アリルコードが入力されます。入力を取り消す場合は、 を選択します。

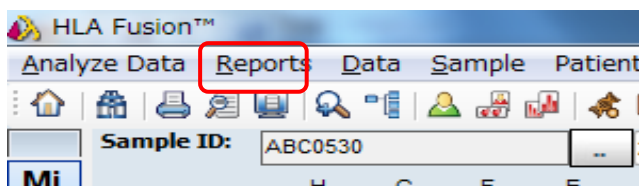
5. 4.で決定した Allele Code を元に、対応する血清型を選択します。ダブルクリックまたは をクリックして選択します。取り消す場合は をクリックします。

The screenshot displays a software interface with four main sections:

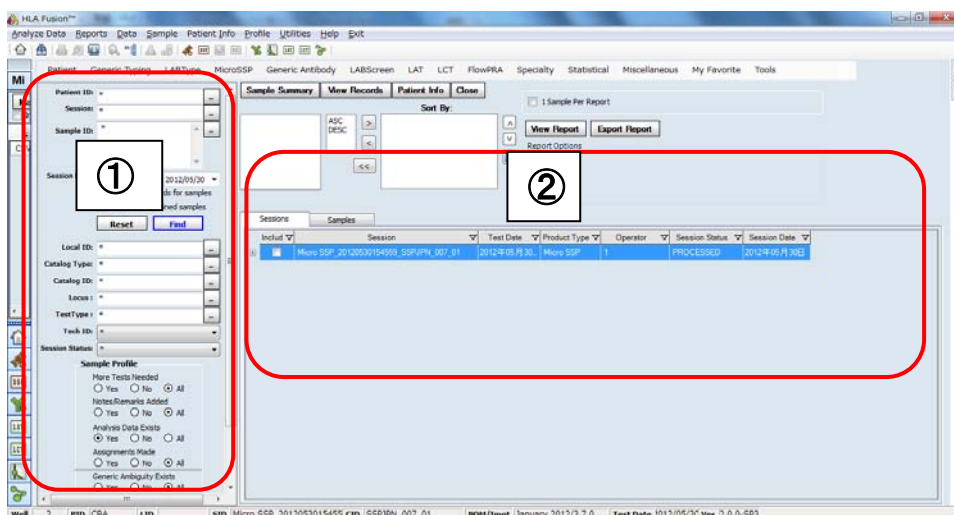
- Possible Allele Code:** A list of allele codes. The entry `C*07:XX1 C*07:XX2` is highlighted with a red box.
- Possible Serology:** A list of serology types. The entry `Cw7 Cw7` is highlighted with a red box. A red arrow points from this entry down to the 'Assigned Serology' section.
- Assigned Allele Code:** A list of assigned allele codes. The entry `C*07:XX1 C*07:XX2` is highlighted with a red box.
- Assigned Serology:** A list of assigned serology types. The entry `Cw7 Cw7` is highlighted with a red box.

6. 「Assigned Allele Code」「Assigned Serology」を選択終了後、Save をクリックします。
 * Save を押さないまま閉じてしまうと全てデータが消えてしまいますので、必ず Save をクリックして下さい。

第3章 カスタムレポートの作成



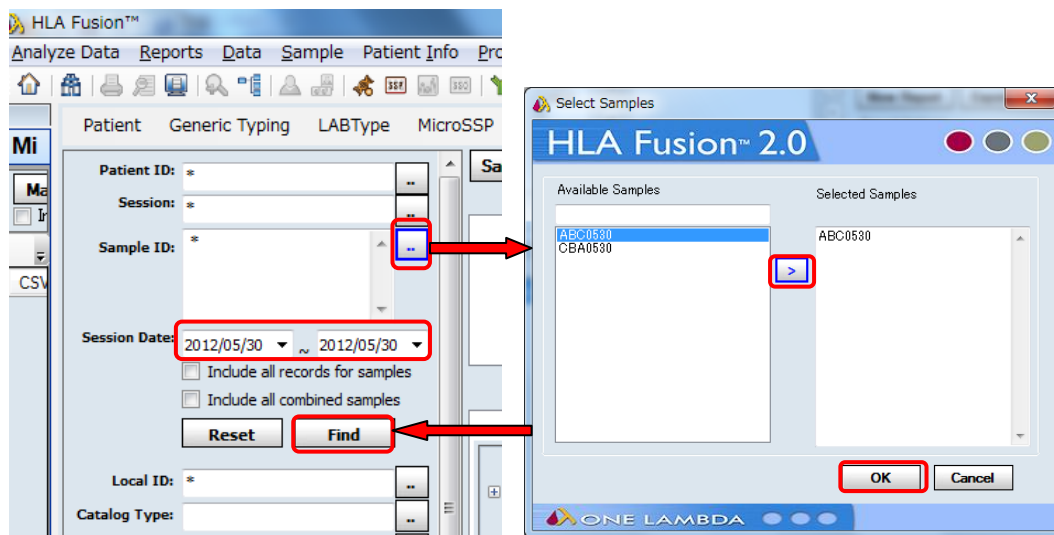
1. Report タブを選択します。



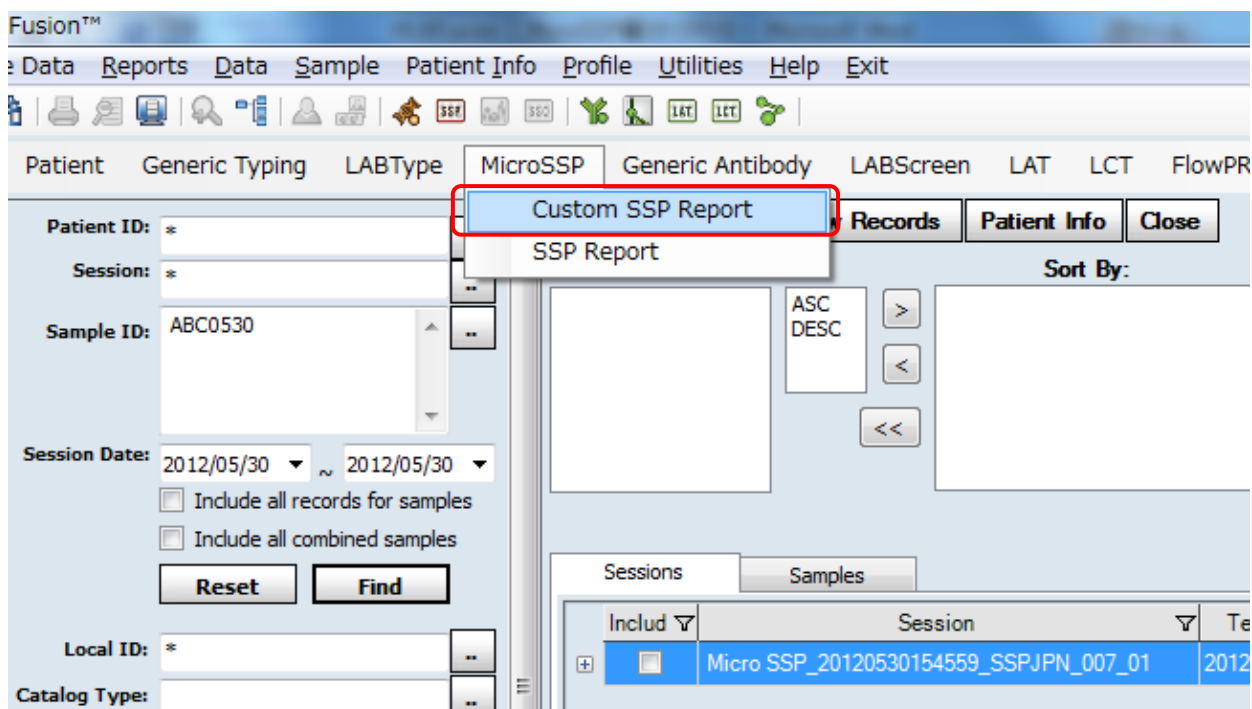
- ① 画面左側: 様々な条件でのデータの検索を行います。
- ② 画面右側: 検索した結果、Session が表示されます。

(例) Sample ID からデータを検索

- ① Session Date を、探したいデータの日付を含むような範囲に設定し、Sample ID カラムの隣の... ボタンをクリックします。
- ② 目的のサンプルを選択し、> をクリックし、OK を押します。
- ③ Find をクリックします。画面右側に、目的の Session が表示されます。

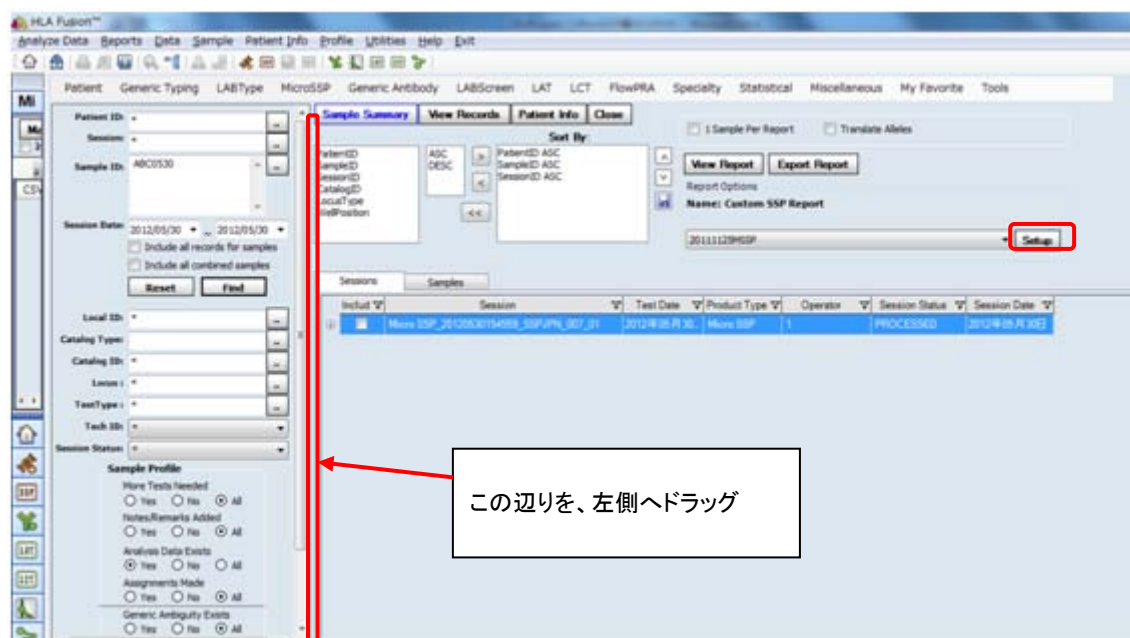


- MSSP → Custom SSP Report を選択します。



- 画面右端にある Report Options にある Setup ボタンをクリックします。

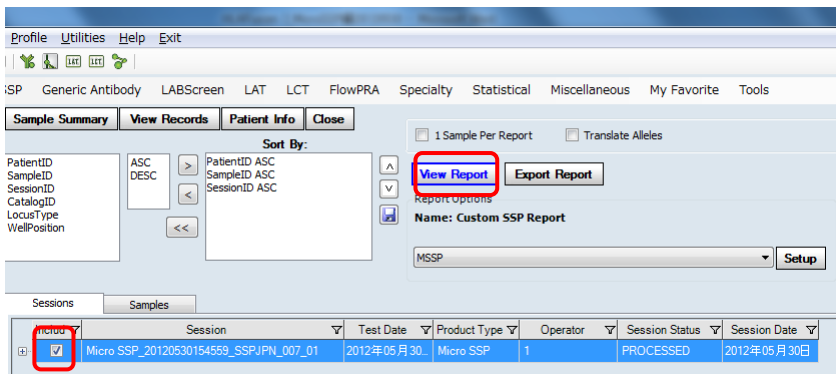
* もし Setup ボタンが見つからない場合は、下図のように境界線を左側ヘドラッグして下さい。



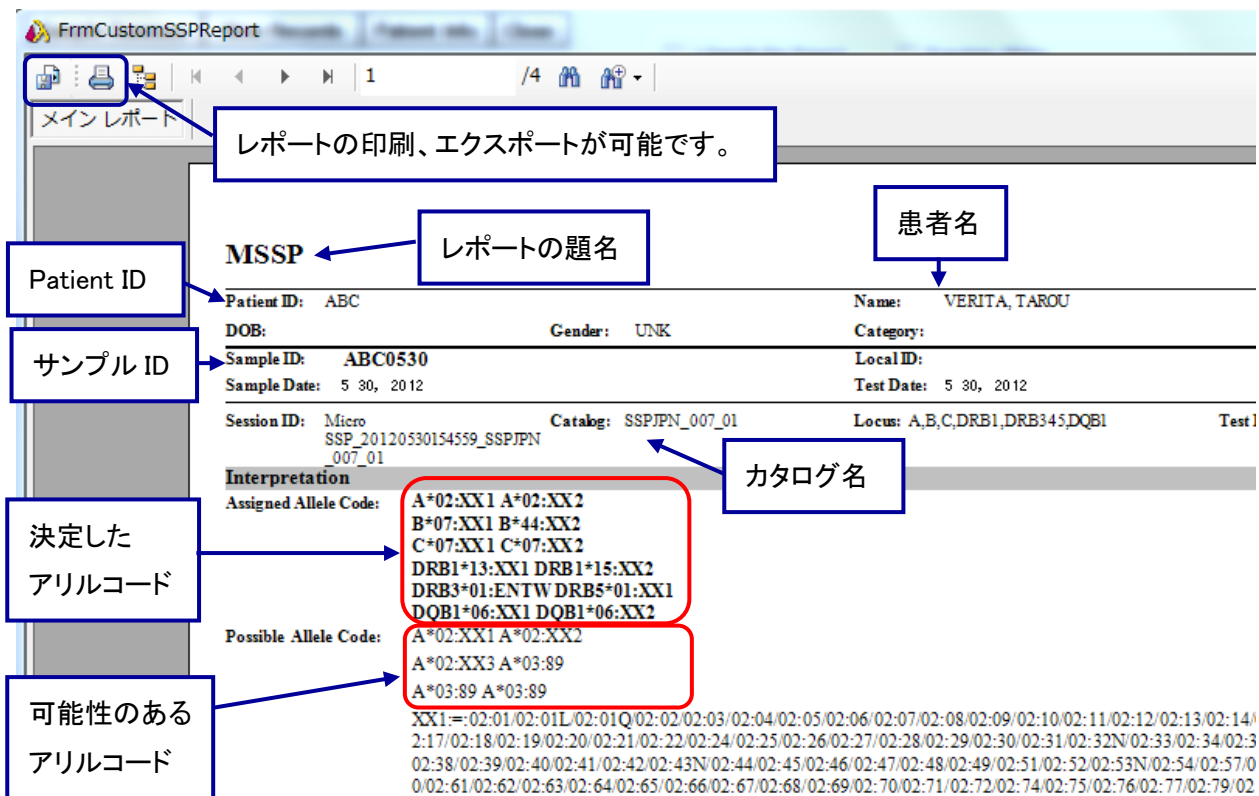
4. Setup 画面から、レポートに表示したい項目を選択し、Save を押します。



5. レポートしたい Session にチェックを入れ、View Report をクリックします。



6. View Report の画面から、ファイルのエクспортおよび印刷をすることができます。



VERITAS USER MANUAL

日本総代理店

株式会社

ベリタス

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-7-14 八洲ビル
TEL.03-3593-3211(代) FAX.03-3593-3216
E-mail: veritas@veritastk.co.jp

<http://www.veritastk.co.jp/>

ROLM-3054
(0106000)V